

# 南京理工大学

## 2020 年硕士学位研究生入学考试试题

科目代码: 624      科目名称: 基础日语      满分: 150 分

注意: ①认真阅读答题纸上的注意事项; ②所有答案必须写在答题纸上, 写在本题纸或草稿纸上均无效; ③本题纸须随答题纸一起装入试题袋中交回!

一、語彙、文法。最もよいものを選択肢 A B C D から一つ選びなさい。(毎題 1 分, 共 35 分)

- 社内の人材さえ ( ) すれば、問題は解決できるだろう。  
A 応用      B 活用      C 運用      D 通用
- 教授に不満を持つ学生たちは、次の授業を ( ) することにした。  
A カット      B ボイコット  
C フォロー      D ナンセンス
- 今回の講演会では話題になっている科学 ( ) の話を聞くことができた。  
A 家      B 者      C 人      D 員
- 新製品の開発に ( ) 過程では、さまざまな試行錯誤が繰り返された。  
A 届く      B 着く      C 至る      D 行く
- 彼は長くこの村に住んでおり多くの人を助けているので人望が ( )。  
A 高い      B ふとい      C 大きい      D あつい
- 彼は時計みたいに正確で、いつも約束の時間 ( ) にやってくる。  
A てつきり      B そっくり      C きっかり      D きつぱり
- 「火事だ」と ( )、彼は外へ飛び出して行った。  
A さげび次第      B さげぶが早い  
C さげぶ最中に      D さげぶうちに
- 今から ( )、成績の悪い私が大学に合格するのは無理だろう。  
A 勉強したところで      B 勉強するところで  
C 勉強したところが      D 勉強するところを
- 私が会社の金を盗んだと彼は言っただけだが、それはまったく ( )、私は絶対にそんなことはしていない。  
A でこぼこで      B あわれだ  
C あたりまえで      D でたらめで

- あの山の ( ) に家があるのを見えますか。  
A てっぺん      B みき      C あたま      D こずえ
- 靴のひもが ( ) 歩きにくいので、結びなおした。  
A ほろびて      B やぶれて      C はなれて      D ほどけて
- 捕らぬ ( ) の皮算用。  
A 狼      B 狐      C 兔      D 狸
- 日本語ができ、( ) 週五日勤務できる方を募集する。  
A かつ      B ゆえに      C それでも      D しかしながら
- 日本語を勉強し始めたのは、( ) この間なのに、もうぺらぺらしゃべれるようになった。  
A つい      B ついに      C さき      D さつき
- この山道は途中から道がなくなり、( ) ことが多くなる。  
A うつむく      B まごつく      C うるおう      D まぎれる
- 夫は ( ) な人で、服を買うのに苦労する。  
A おおらか      B おおがら      C おおはば      D おおつか
- 大学院は ( ) その分野の研究者を育成する機関だ。  
A もっぱら      B ずばり      C かるうじて      D いたって
- 彼は実年齢より ( ) 見える。  
A ぬけて      B おとって      C にごって      D ふけて
- 会議ではみんなの意見が ( ) で、なかなかまとまらなかった。  
A おのおの      B しばしば      C まちまち      D ぼつぼつ
- 「案の定」の使い方として、適切なものはどれか。  
A みんなの案の定のとおり、田中氏が当選した。  
B 今回の試験はあまりできなかったと思っていたら、案の定不合格だった。  
C 子どもの頃の夢が案の定になった。  
D この事件の真相は案の定を上回るものだった。
- 最近散歩 ( )、近所に新しくできた図書館によく行っている。  
A のかたわら      B がてら      C ながら      D とばかりに
- 親の希望もさること ( )、自分もその大学に入りたかった。  
A であり      B でばく      C とともに      D ながら
- 彼の不作法 ( ) 行為に憤りを感じた。  
A 極まり      B 極まった      C 極まる      D 極まりない
- 店の装飾やサービスに一流の店 ( ) の品が感じられる。  
A であれ      B ならでは      C らしい      D ごとき

- 25、最近是多忙で、観光（ ）コンサートに行く暇もない。  
A どころか B に際して C からすると D もかまわず
- 26、ただ安いという（ ）で、品物を選んではいけない。  
A こそ B さえ C だけ D しか
- 27、この映画は面白くないだろうと思っていたが、（ ）よくできた作品だった。  
A とりわけ B わりと C 切に D 全く
- 28、あの人に（ ）そんなうそをつくはずがないよ。  
A 限らなく B 限らず C 限られて D 限って
- 29、彼は食卓につく（ ）、カレーライスをガツガツと食べた。  
A なり B うちに C とたんに D そばから
- 30、巨大な兵舎を転用した病院は、欠乏と放置と混乱と悲惨の（ ）。  
A せいだった B ことだった  
C ところだった D きわみだった
- 31、このお店のメロンパンは評判で、店頭に並べる（ ）、売れていく。  
A からこそ B かたわら C そばから D ばかりか
- 32、ご結婚おめでとうございます。お二人の末永い幸せを願って（ ）。  
A たまりません B いられません  
C やみません D すまされません
- 33、別れの際に、彼女の（ ）言葉が気になってしょうがない。  
A なぞのごとく B なぞめいた  
C なぞづくめの D なぞがちな
- 34、「～ている」の使い方と他と異なるものはどれか。  
A このご飯はもう腐っている。  
B 鈴木先生はアメリカに何回も行っている。  
C 桜の木が枯れている。  
D 王さんは黒い眼鏡をかけている。
- 35、まさか彼女が犯人だったとは、（ ）。  
A 夢にすら思っていた  
B 夢にさえ思うことができた  
C 夢でこそ思わなかった  
D 夢にも思わなかった

二、読解。文章を読んで、最もよいものを選択肢A B C Dから一つ選びなさい。  
(毎題2分、共40分)

### 文章1

わたしたちは、空間とともに、もうひとつの要素である時間によるしきりを行っている。まずはすぐ思いつくのは「正月」による年のしきり、あるいは三月の年度末と四月の年度はじめなどである。

三月の年度末と四月の年度はじめは、おそらく農業的サイクルによって決定されていたのだと思われる。かつて、農業的な①時間のしきりがわたしたちの時間のしきりに大きな割合をしめていた。種を蒔き、苗を植え、収穫するというサイクル。また、収穫後の秋の祭りをはじめさまざまな祭事なども、農業的時間の中で位置づけられていたはずである。たとえば収穫後の秋の祭りは、まさに一年の収穫を終えたしきりである。

アメリカのエンジニア的デザイナー、建築家であり、巨大ドームの設計で知られるリチャード・バックミンスター・フラーは、予算計画をはじめとするあらゆるプロジェクトの計画が年度でしきられることを批判していた。というのも、インダストリアルなプロジェクトは、農業的時間とはまったく異なっており、年度でしきられるものではないというのである。

②そうした意味でいうなら、現在のわたしたちの時間は、グローバルな電子情報が昼夜区別(しきり)なく行き交っており、二十四時間のしきりや、さらには、ヘンリー・フォードによって打ち立てられた産業的社会時間のしきりも意味をなさなくなってきた。フォードは、朝九時にはじまり夕方五時に終了するという工場の時間的区切り(しきり)を設けた。このことによって、フォードに関連する生産工場は、同じ時間帯での稼働を行うことになる。その結果、フォードの時間の区切りが社会的な時間となっていく。

現在の日本の産業は、フォードの時間とまったく同一の時間割にはないが、形式的には同じである。朝八時か九時にはじまり、夕方五時か六時に終わる。就業時間は、パブリックな時間であり、その時間が終わると、プライベートな時間に切り替わる。職種によっては、かならずしもオフィスや工場などで就業するとはかぎらない。営業や販売促進などの部門にいる人々は、オフィスや工場以外の場所にいることが少なくない。しかし、そうした職種の人々も、たとえばオフィスや工場から離れた場所においても、それとなく就業時間、つまりパブリックな時間の中にいるというしきり感覚をもっており、プライベートな行為(たとえば個人的買い物など)を控える。外出先にあってもプライベートな時間帯に入るのを待って、個人的な行為をする。



(③)、この時間的なしきりは、日本ではあいまいにすることも意識的に行われてきた。

(柏木博『「しきり」の文化論』による)

- 36、①「時間的しきり」とあるが、その説明について正しいのはどれか。
- A 昔は農業のサイクルによって決められ、秋の祭りは一年の終わりだとされていた。
  - B 日本の産業も基本的には同一の時間割を使っていて、従業員は就業時間とプライベートの時間のしきりを守っている。
  - C フォード時間は社会の共通労働時間をルールとして決め、今日に至ってもなお多くの会社に使われている。
  - D アメリカではほとんど予算計画によって、年度の時間のしきりを決めている。
- 37、②「そうした意味でいうなら」とあるが、「そうした意味」は何を指しているか。
- A 農業のサイクルによってしきられた時間
  - B アメリカの年度計画
  - C プロジェクトなどによって仕切られた時間
  - D 産業的な社会時間
- 38、(③)に入れる言葉として、正しいのはどれか。
- A ところで B とはいえ C つまり D したがって
- 39、文章の内容と合っているものはどれか。
- A 日本の時間のしきりは欧米に比べて、より曖昧なところがある。
  - B プロジェクトのデザインは農業時間の仕切り方とは違って、年単位で仕切られている。
  - C フォードに関連する会社は基本的には同じ時間帯で稼働している。
  - D 営業や販売に従事する人は社内になくても、就業時間を守らなければならない。

## 文章2

「多重人格」は今アメリカで患者数数十万という①とんでもない「流行病」である。これを「幼児期の虐待」によって説明するのが今の「定説」である。療法は、抑圧されて幼児記憶を再生させて、否定された自己を蘇らせ、多重化した人格を統合することをめざす。

これは「自己とはなにか」という問題について、危険な予断を含んでいると

私は思う。最終的に人格はひとつに統合されるべきである、という治療の前提を私は疑っているからである。「人格はひとつ」なんて、誰が決めたのだ。

わたしはパーソナリティの発達過程とは、人格の多重化プロセスである、というふうに考えている。幼児化にとっての世界は未分化の混沌である、幼児にとって世界との接点はもっぱら粘膜(唇など)であり、その対象は人間であれ、植物であれ、「快不快」を軸に分類されている。もう少し大きくなると、ある人間と別の人間では、メッセージに対する受容感度が異なることに気づくようになる。コミュニケーションをうまくすすめるためには、相手が変わるごとに、発声法や、言葉遣いや、トーンや、語彙を変えるほうがいい、ということを経験する。たとえば、母親に向かって語りかける言葉と、父親にむかって語りかける言葉は、別のものに分化しそれぞれ発達してゆく。

コミュニケーションの語法を変えるということは、いわば「別人格を演じる」ということである。相手と自分の社会的関係、親疎、権力位階、価値観の親和と反発…、それは人間が二人向き合うごとに違う。その場合ごとの一回的特殊な関係を私たちはそのつど構築しなければならない。

場面が変わるごとにその場にふさわしい適切な私たちは「大人」と呼んできた。そのような場面ごとの人格の使い分けをかつては「ア」と称した。それが「成熟」という過程の到達目標のひとつであったはずである。

しかるに、近代のある段階で、このような「別人格の使い分け」は「イ」とか「裏表のある人格」とかいう否定的な評価を受けるようになった。単一で純粋な「統一された人格」を全部の場面で、常に貫徹することが望ましい生き方である、ということが、いつの間にか②支配的なイデオロギーとなったのである。

「本当の自分を探す」、「自己実現」というような表現は、その背後に、場面ごとにばらばらである自分を統括する中枢的な自我がなければならない、という予断を隠している。その予断ゆえに、今私たちの社会は、どのような局面でも、単一の語法でしかコミュニケーションできない人々、相手の周波数に合わせて「チューニングする」能力がなく、固定周波数でしか受発信することができない、情報感度のきわめて低い知性を大量に生み出している。

社会集団は「同質的で、単一で、純粋であるべきだ」という危険なイデオロギーを声高に批判する人がなぜ「自我は同質的で、単一で、純粋であるべきだ」という近代の自我論を放置し、しばしば擁護する側にまわるのか、私にはうまく理解できない。」

いまの社会では、「③」、「自分の個性を全面的に表現せよ」といった「自我を断片化して使い分ける」ことに対するきびしい禁忌が幼児期から働いている。



そのような社会では、「ある局面においての私」と「別の局面での私」というものを切り離す能力は育たない。

(内田樹『「おじさん」的思考』による)

- 40、①「とんでもない「流行病」である」とあるが、ここで筆者のどのような気持ちを示すために使われているのか。
- A 「多重人格」という新しい病気が流行するアメリカの発展に対する賞賛
  - B 「多重人格」が幼児に特有な症状であるということへの強調
  - C 「多重人格」は近いうちに日本でも流行するだろうという懸念
  - D 「多重人格」の患者数がこれだけ多いというのはおかしいと皮肉る気持ち
- 41、「ア」と「イ」に入れるのに最適な言葉はどれか。
- A ア: 巧言令色、イ: 半信半疑
  - B ア: 付和雷同、イ: 朝令暮改
  - C ア: 融通無碍、イ: 面従腹背
  - D ア: 当意即妙、イ: 輕挙妄動
- 42、②「支配的なイデオロギー」とあるが、その意味として最適なものはどれか。
- A その時代の人々の判断をただひとつの方向に強制する思想
  - B その時代のほとんどの人に認められている手本
  - C その時代の大多数の人々の思考や行動に影響を与える根本的な考え方
  - D その時代の人なら誰もが認めて受け入れる常識的なもの
- 43、「③」に入れる言葉として、もっとも適切なのはどれか。
- A 自分らしくふるまえ
  - B まじめに努力せよ
  - C 嘘をつくな
  - D 立場をわきまえよう

### 文章3

「これはいつも大事に体につけているのですよ。けがをしないように守ってくださいるものですからね。」

小さい時、おばあさんにそう言われて、長い紐につるされたお守り袋を肩からかけてもらった経験を持つ人は、きっと多いに違いない。

お守り袋には、幼児の住所氏名を書いた紙片などがいっしょに入れられて、迷子札ないしは身分証明書の役割をも役していた。お守り袋には、わが子の健康と安全とを祈る親の愛情が込められていたのである。今日では、お守り袋を身体につけている子どもは、昔に比べたらずっと減っているだろう。だが、戸口の敷居の上や玄関先の壁に、火の用心とか商売繁昌とかのためのお札をはりつけている家は、いまでも数多く見られる。自動車にいたっては、バック・ミラーの横に交通安全のお札とマスコットの人形をぶら下げていない車のほうが、①少ないだろう。

さて、こんなことを言いますと、「科学万能」の現代にあつてお守り袋やお札をありがたっているみたいで時代錯誤もはなはだしい、とまたお叱りをこうむるかもしれない。かつて福沢諭吉は、その自伝の中で、神棚にまつてあつたお札をちり紙の代わりに使ってみたところ、べつにバチも当たらなかったと書いている。いかにも明治の文明開化期の合理主義者の福沢らしいが、それから何十年を経て現在、なおお守りがいろいろな形で用いられているのは、どうしたわけであるか。単に迷信とか呪術とかいうことばで片付けてしまうことのできぬものが、そこには含まれているからではないか。

なるほど、科学の進歩によって、多くの未知のことがらが解明された。これからも多くの謎が解きほぐされてゆくだろう。と同時に、何がまだ未知のことがらであるかも、科学は明らかにした。未知のことがらと、そうでないことがらとを厳密に選り分け、どこまでが分かっている、どこから先はまだ分かっていないのかを的確に指摘するのが、科学の任務だといってもよい。科学が進歩すればなんにでも明解な解答を与えてくれるようになるとおもっては、いささか②にすぎるだろう。原爆実験のもたらす放射能が人類遺伝にどのような影響をもたらすか、あるいは工場煤煙がガンの形成と増殖にどんな関係をもつか、残念ながら解答はできないのが現状だ。いや、われわれはこうしている間にも、じりじりと放射能におかされ、ガンを体内につくりつつあるのかもしれない。そうした不安感、おそらく戦前の人々が思いもよらなかったことに違いない。

確かに近代以前の社会にあつては、お守りは呪術的な意味を担っていた。福沢諭吉が嘲笑したのも、そうした古い「お守り」であつた。しかし、文明が急速に発展し、科学が顕著に進歩するにつれて、お守りの機能が転換したのだ。現在多くの自動車がお守りをつけて繁華街を走っているが、封建時代に田舎道を往来した荷馬車が果たしてお守りをつけていたのだろうか。近代文明の発展と近代科学の進歩が、新しい意味でのお守りを必要としたわけである。

日本は外国のキリスト教や回教のように、圧倒的な力を持つ宗教のもとに信



仰を統一・強制されたことはなかった。だから、今日でもなおかつ原始宗教的・アニミズム的信仰の様相が文化の各面に生きている。お札は、人間の生き方を体系的な人生観・世界観を与えることで教え込もうという特定の宗教・宗派ではなく、日常の不安を身近な形でとき開いてくれる心の扉の鍵のようなものだ。そういう点で、日本のお札は非常に個別化されており、日常的かつ実用的なものとして、今日にいたるまで活用されてきたのである。

(③)、盗難予防のお札を張っておけば、戸締りをしなくてよいというのではないし、安産祈願のお守りを持っていたら、産婦人科医に診てもらわなくてもすむとは、おそらく誰も考えていないだろう。しかし、それは反科学主義なのではなく、むしろ科学主義を成立させるためのわき役なのだ。

- 44、文中の ( ① ) に入る言葉として適切なものはどれか。  
A やはり B むしろ C なるほど D いかにも
- 45、文中の ( ② ) に入る言葉として適切なものはどれか。  
A 客観的 B 主観的 C 悲観的 D 楽観的
- 46、文中の「こうしている間」とあるが、どのようにしているか。次から最も適切なものはどれか。  
A お守りの機能が変わっている間。  
B 科学が進歩している間。  
C 科学の進歩とわれわれの日常生活と、どんな関係を持っているかを考えている間。  
D 科学が進歩するにもかかわらず、お守りは依然として存在するのはなぜかを考えている間。
- 47、「お守り」の近代以前の役割に属していないのはどれか。  
A 身分証明書  
B 健康と安全とを祈る  
C 心の扉の鍵  
D 商売繁昌を願う
- 48、「福沢諭吉が嘲笑した」とあるが、彼が嘲笑した理由はどれか。  
A そのとき、お守りは呪術的な意味を担っているからだ。  
B お守りは効かなかったからだ。  
C お守りがはやっていたからだ。  
D お守りは人間を守れないからだ。
- 49、「新しい意味でのお守りを必要とした」とあるが、新しい意味でのお守りが果たした機能はどれか。

- A 単に迷信とか呪術とかいいうことばで片付けてしまうことのできぬもの。  
B 文明が発展し科学が進歩するにつれ、新しく生じてきた危険・不安にともる赤ランプのようなもの。  
C 科学の進歩によって、多くの未知のことがらが解明されるのに役立つようなもの。  
D 「科学万能」の時代において、いろいろなことがらへの明快な解答を与えてくれるようなもの。

- 50、文中の ( ③ ) に入ることばとして適切なものはどれか。  
A そのうえ B そして C むろん D したがって
- 51、筆者が考えている「お守り」や「お札」の将来はどれか。  
A 科学によって解決できないなぞを「お守り」や「お札」はだんだん解明してくれるだろう。  
B 文明が急速に発展し、科学が顕著に進歩するにつれて、「お守り」や「お札」はだんだん消えていくだろう。  
C お守りは呪術的な意味を失い、科学に等しいものになっていくだろう。  
D 科学主義を成立させるためのわき役としてわれわれの生活に存在していくだろう。
- 52、筆者の意見や考えと一致しているものはどれか。  
A 人々が抱く不安を無視するべきではない。なぜならそれは社会への警報でもあるから。  
B 文明がもっと発達すれば、人間は完全に合理的思考をすることができるだろう。  
C 人間の運命はどうすることもできない。  
D お守りやお札を大切にしないと必ずバチがあたると思う。

#### 文章 4

たいてい人の表情は煩悩によって動く。特に笑顔は、しばしば何かをごまかすために用いられる。うまくいかない時、苦境に立たされている時に自分をガードする側面が強いのだ。

外国人と英語で話そうとして、うまく話せないような時、なぜか笑っていることがあるだろう。けれど笑っている時、とても緊張して疲れているはずだ。つくり笑いは自分をごまかす「無知」の煩悩によるものだ。「大丈夫、調子がよい」と繕いたいのに、表情と心が一致していないので、強いストレスが生じている。

常に自分の表情を意識するように努めていると、こわばったつくり笑いをふせぐことができる。反対に、目の前の相手が自然ではない、ひきつった笑顔をしている時には、その背景には緊張があって、その苦痛に命令されて反射的につくり笑いをしているのだとみておく。

53、筆者はこの文章の中で人はどんな時に笑顔になると言っているか。

- A 最も幸せな時。
- B リラックスしている時。
- C 煩惱がある時。
- D 何かをごまかす時。

54、「つくり笑い」をしている時の様子で正しいのはどれか。

- A 極度に緊張しているので、笑おうとしているが笑えない。
- B 自分の「無知」を隠すためなので、必要以上に笑顔である。
- C 無理に笑おうとしているので、不自然な笑顔になっている。
- D 表面と内面が一致していないので、ストレスが生じている。

55、筆者の意見や考えと一致しているものはどれか。

- A 表情の訓練をすると、つくり笑いをふせぐことができる。
- B 相手の表情から、相手が緊張しているかどうか分かる。
- C つくり笑いは反射的なもので、自分で意識してやめることはできない。
- D 人の表情は煩惱によって動くが、つくり笑いは例外である。

三、翻訳。56-60 は中国語を日本語に訳し、61-65 は日本語を中国語に訳しなさい。(每题 3 分, 共 30 分)

56、消費者尽可能地避免在购买日用品时去做繁琐的选择, 而把节省下来的时间和精力用于某种自己特别感兴趣的购物中。

57、这种花大概是野生的缘故吧, 比都市温室栽培的同种花看起来显得坚韧。但是即便看上去坚韧, 正因为是野生的使它显得更为秀丽楚楚动人。

58、真不愧是个有一技之长的名人说的话。这不仅仅限于象棋, 不是也可以用来表示整个人生吗? 我这么思考着, 同时也发现这种坚信就是日本人特有的信条。

59、不了解情况的人看来这不过是一家普通的拉面店。但是如果你知道了那儿曾经发生过可怕的事, 就会觉得那儿至今仍然有着一种令人害怕的气氛。

60、汉字简化运动从一开始就存在一个认识误区, 即繁体字难认、难读、难写, 所以造成中国人不识字、没文化。实际上, 识字水平和文化程度与社会经济发展以及教育的普及提高有很大关系, 和字体难易程度的关系不是很大。

61、日本式家屋には畳が敷いてあるので、靴を脱いで上がらなければならない。畳の部屋に入ったら、まず正座して手をついてお辞儀をする。座るときは畳の上に座布団を敷いて、その上に正座をするのが行儀作法の基本である。ただし、正座に慣れない外国人や、親しい間柄では相手の許しを得たうえで足をくずして座ってもよい。寝るときには、畳の上にふとんを敷き、起きたら寝具を畳んで押入れに片付ける。

62、日本人は、「転石苔を生ぜず」ということわざを、「落ち着きなく動きまわっていると然るべき能力が身につかない」という意味で用いるそうですね。しかし、個人的な意見をいわせてもらえば、作家にとって一所にとどまって苔生すことは、創作意欲を削がれることにつながるのです。常に新たな環境に身を置くことでイメージーションが膨らみ、次の作品へ向かう意欲が生まれます。シンガポールには比較的長く住んでいますが、この先どこへ向かうかは私自身にもわかりません。

63、日本では、一般的に年度の初めである 4 月に新入社員が入社します。大学生の場合、大学 3 年生から企業の説明会に参加し、大学 4 年生で選考を受けて内定をもらうというのが一般的です。昔ほどではありませんが、優秀な学生を早期に確保する「青田買い」と呼ばれる採用活動を行っている企業もあります。一方、内定がもらえずに就職浪人する大学生の増加や、経営の悪化を理由に内定を取り消すという企業の行為が社会的な問題となっています。

64、上野の近くには、「デンキの街」として知られる秋葉原があります。ここには、大小 1000 軒以上もの電化製品販売店が集中し、各店舗には大手メーカーのさまざまな製品が所狭しと並んでいます。何でもそろっている量販店もあれば、パソコンの細かなパーツなどを扱っている専門店もあります。そのほかにも、たくさんの免税店があり、毎日多くの外国人でにぎわっています。日本では珍しく、秋葉原のお店では値段交渉ができることも魅力の一つとなっているのかもしれませんが。また秋葉原は、人気アイドルグループ AKB48 のホームタウンとしても人気を集めています。



65、現在、日本では産官学が一体となって研究チームを結成し、災害発生時に安全性を確保しつつ迅速な被災者支援を行うために、災害情報や生活再建支援情報などの提供にクラウドコンピューティングを活用しようという取り組みが始まっています。この夏からは、東日本大震災の被災地を対象に住民参加型の実証実験も始まる予定です。

#### 四、作文。(共 45 分)

66、現在、やるべきことを先延ばしする行動は、社会のあらゆる所で見られる。これを「先延ばし(さきのばし)症候群」と呼ぶ。あなたは、この症候群に属するか、先延ばし症候群についてどう思うか。あなたなりに文章を書きなさい。

注意事項：

- 1、文体は、手紙文を除いて一律常体にすること。
- 2、文章は、600 字以上、800 字以内に収めること。(句読点も一字とする。600 字未満、または 800 字をオーバーした場合は減点になる。)